



①レーザー加工セミナーの様子。二層板や木、アクリルなど素材別でセミナーをおこない、基本的な加工テクニックを受講者に説明。

②ストラップや靴札、ベッタなどといったレーザー加工用素材が展示会特設で販売された。手に取るユーザーで賑わった。

③④レーザー以外の手法を組み合わせたココボ企画も、上は理学工業のデジタルスクリーン製版機「ゴコロ100」。下はミマキエンジニアリングのUV厚層プリント「UJF-6042」。

⑤会場入口付近ではぬれや織物バーや大粒分野が行われた。iPhoneケースやバーや二層板などの人気商品も多数並べられた。

iPhoneケースやバーや二層板などの人気商品も多数並べられた。

イベント同社では日頃からユーザーのレーザー機械をよく分解して点検修理をおこなっているが、ユーザーの前で解説するのは初めて。解体セミナーは会場中央でおこなわれ、あつていう間に人でかりがり解体することによってレーザー機のどこに負荷がかかるのかどの部分に汚れが溜まるやすいかが分かる。出場者はスタッフのシテナンス方針に耳を傾けながら、熱心にメモを取っていた。

レーザー機以外の加工システムを紹介するコラボ展示も実施。理学工業のデジタルスクリーン製版機「ゴコロ100」や、ミマキエンジニアリングのUV厚層プリント「UJF-6042」などのイベントを実施。2日間合計で79社96名が来場した。同社は、「セミナーを1日通じて受講された方が多く、平均受講時間は約5時間。多方面でレーザーの世界をアピールできました」といいます。次回は7月24日から2日間開催市内での開催を予定している。



カラーグラビア・各種セミナーや即売も、UESのレーザー加工展

レーザー機の「解体ショー」?

解体してレーザー機の仕組みを知る

もう一つの目玉が「レーザー機解体ショーや」というも、UESの技術スタッフがユニークな方法で解説するのは初めて。解体セミナーは会場中央で組み立てる、というユニークな

本「解体アーティスト」。レーザー機械の加工と仕上げの基本を素材別にレクチャーやするというも、1コース25分で各素材のレーザー技術が得られるところである。初回から30人以上の受講者が駆けつけ、大盛況だった(25日のみ)。

今回の展示会は日玉は「ベーシックセミナー」「コース」「革製品」

「木工」「アルマイトなど」、レ

ーザー機械の加工と仕上げの基本を素材別にレクチャーやするというも、1コース25分で各素材のレーザー技術が得られるところである。初回から30人以上の受講者が駆けつけ、大盛況だった(25日のみ)。

「解体アーティスト」。レーザー機械の加工と仕上げの基本を

素材別にレクチャーやするというも、1コース25分で各素材のレーザー技術が得られるところである。初回から30人以上の受講者が駆けつけ、大盛況だった(25日のみ)。

「解体アーティスト」。レーザー機械の加工と仕上げの基本を

素材別にレクチャーやするというも、1コース25分で各素材のレーザー技術が得られるところである。初回から30人以上の受講者が駆けつけ、大盛況だった(25日のみ)。